

# 令和7年度 久山町立小中学校 ICT教育実践事例集



久山町立小中学校ICT教育推進会議

## はじめに

久山町では、「一人一台端末」を活用した学びをさらに深化させ、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を育むICT教育を推進しております。この度、久山町立小中学校ICT教育推進会議のメンバーを中心に、町内各校における日々の実践を「ICT教育実践事例集」にまとめました。

本事例集には、久原小学校、山田小学校、そして久山中学校における令和7年度の多様な取り組みを収録しています。低学年でのデジタル教科書やカメラ機能を活用した視覚的な学びから、高学年・中学生によるGoogleスライドを用いた協働学習、さらには生成AI（GeminiやNotebookLM）といった先端技術に対話のパートナーとして取り入れた高度な授業実践まで、その内容は多岐にわたります。

ICTは単なる道具ではなく、子どもたちが自ら問いを立て、考えを深め、他者と共有するための強力なパートナーです。各校の創意工夫が詰まったこれらの事例が、先生方の明日からの授業改善のヒントとなり、久山町の子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」をより一層豊かにするものと確信しております。

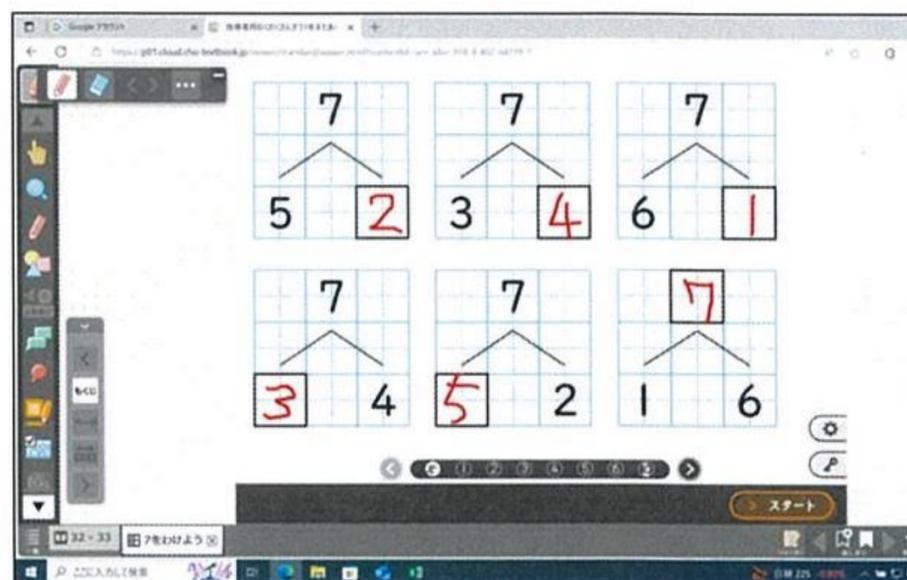
最後になりましたが、事例の提供にご協力いただいた先生方に深く感謝申し上げますとともに、本事例集が久山町のICT教育のさらなる発展に寄与することを願っております。

令和8年3月 久山町立小中学校ICT教育推進会議

# 久原小学校 ICT活用報告書

## 1年生

算数科の学習では、デジタル教科書を用いて授業を進めています。児童と同じ教科書を提示することで、どの問題をしているかやどこに書くかを教師と同じように進めることができます。提示されているものを見ることで、一斉授業の中でペースがゆっくりな子どもも落ち着いて学習に臨むことができました。デジタル教科書を活用しながら、書くことに慣れるように指導をしていきたいと思えます。



## 2年生

生活科「ぐんぐんそだてわたしの野さい」では、夏野菜の写真撮って、成長の様子を記録している。観察カードに気づきを書く際、写真を拡大することで、葉や花、実の様子などを詳しく見ることができた。

また、算数科「長さ」では、デジタル教科書を用いて、ものさしの目盛りの読み方を確認した。

今後は、ミライシードで練習問題に取り組んだり、タイピングの練習をしたりしていきたい。



## 3年生

社会科「町のようす」の学習では、方位や町の土地利用について学習を深めるため、個人用機器でgoogle mapを使用した。地図だけでなく、航空写真で眺めたことで、町の田畑の多さや、どこに多くの家が建っているかまで確かめることができた。

タイピングの練習を進めているので、今後は気づいたことなどをスライドやドキュメントに記し、共有していくことができるようにしたい。



## 4年生



# タブレット活用の現状について

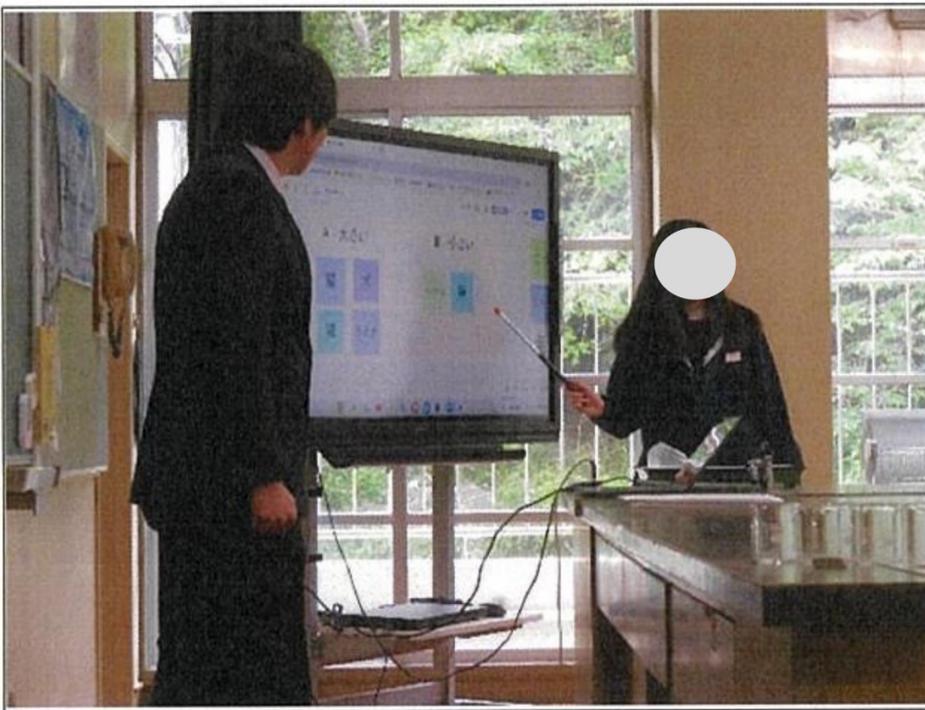
## 【昨年度1年生総合的な学習の時間】

「ディスカバー久山」と題して「立花城」と「首羅山」の成り立ちのなぞに挑戦し、仮説を立てる活動を行いました。

各クラスの班が「立花城パンフレットづくり班」「立花城紹介動画づくり班」「首羅山パンフレットづくり班」「首羅山紹介動画づくり班」に分かれ、それぞれの班で班員が分担してwebを活用した資料集め、グーグルスライドを使って紙面や動画の編集に取り組みました。

完成した作品は久山会館で発表会を行い、たくさんの方に見ていただきました。





【1年 理科】

MIRO を使って分類したものを生徒がモニタに映して発表しています。



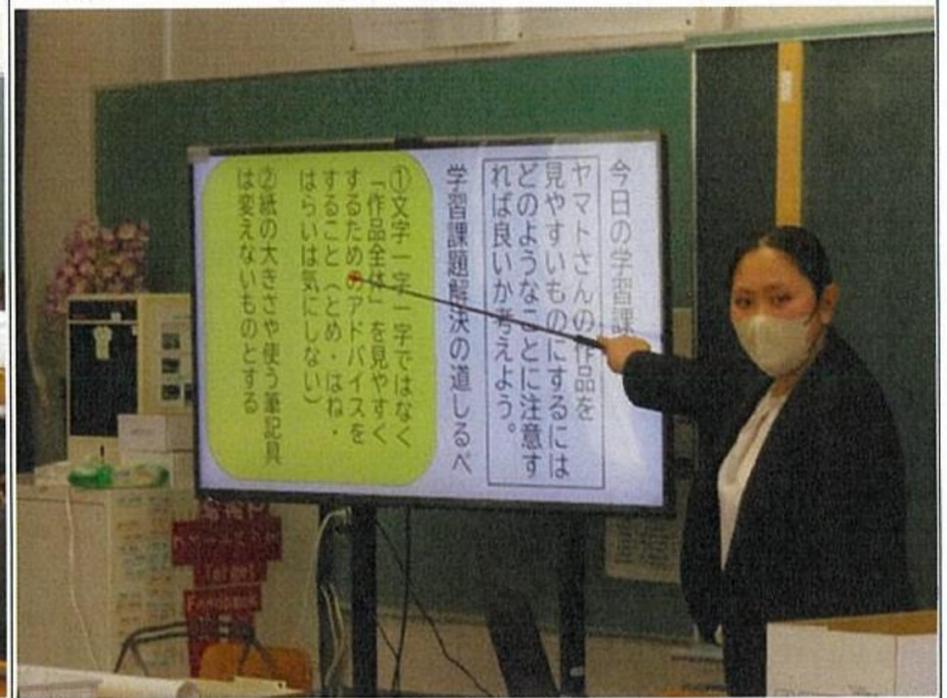
【1年 理科】

MIRO (デジタルホワイトボード) を使って、班ごとに生物を自分の基準で分類しています。



【1年 英語】

カフトを使って生徒のタブレットと連動させ、授業の導入として4択クイズを行っています。



【1年 国語 (書写)】

教師が学習課題をモニタに映して提示しています。

上記のほかにも各学年でタブレットの活用が行われています。この資料を作成している時間にも教室を回ってみると、テスト返却の時間にもかかわらず、教師がモニタを使用している学級が半数を超えていました。また、生徒がタブレット活用をしている授業が2教科ありました。

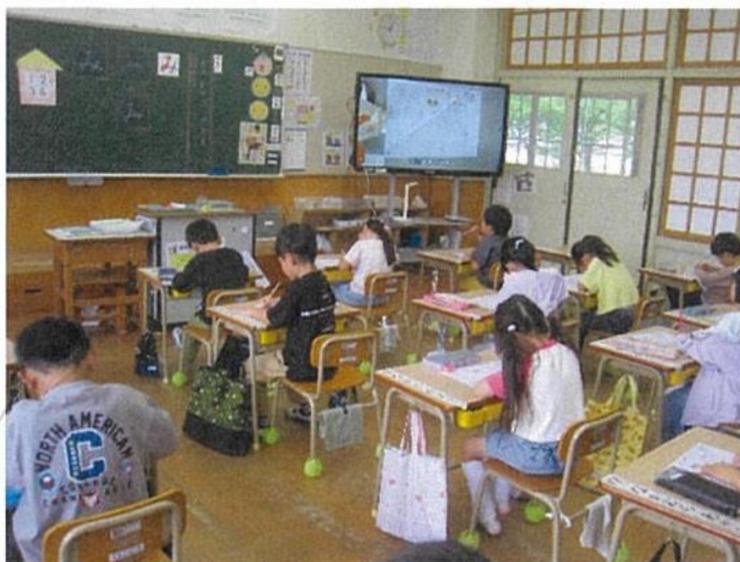
生徒は、「朝の会前に、タブレット庫からタブレットを取り出し、専用のケースに入れてつくえの横にかけ、帰りの会前にタブレット庫に戻す。」という流れが定着し、どの時間でも常にタブレットが活用できる準備が整っている状況が作り出されています。

しかし、少数ですが、タブレット庫に入れたときに電源の状態が十分でなかったりプラグをさし忘れていたりして、いざ使うときに充電が切れていると訴える生徒がいる現状もあります。

(1年生)

1年生はまだ個別のタブレットは準備できていませんので、使用していません。今後は準備でき次第、ログインの仕方や基本的な使い方を学習する予定です。

その他、算数、音楽ではデジタル教科書を電子黒板で使用したり、他教科では、書画カメラを使って学習を進めたりしています。



国語の学習で、お手本や教科書を拡大して、学習を進めています。

(2年生)

生活科「ぐんぐんそだてわたしのやさい」の学習で、タブレットを活用して野菜の写真を撮影し、花や実の様子を観察しました。写真を撮ったことで、拡大して細かい部分まで観察できました。観察カードに絵と文で表現しました。



(3年生)

社会「わたしたちの市のようす」でグーグルマップで学校周辺や自宅の近くを調べたり、理科で植物の観察をモニターで写して活用したり、運動会に向けて、クラスルームに投稿した動画を見て家で練習したりと多くの活用事例がありました。



理科で観察の様子をモニターで拡大

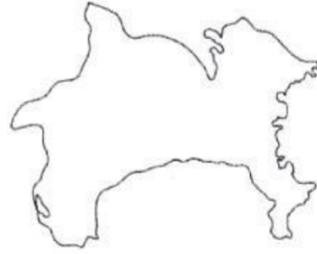


運動会のソーラン節の動画を配信、家でタブレットで練習

社会で、マップを使い、自分の家調べ

(4年生)

社会科「知りたいな 47 都道府県」の学習で都道府県クイズを行うために、Google スライドを用いて資料を作成しました。初めてのスライド作成でしたが、テキストボックスの扱い方や、画像の挿入の仕方を学習し、上手に作成することができました。今後はアニメーションも用いられるようにしていきたいです。



ヒント3

ラクダみたいな県

ヒント1

生産全国1位パンジー

(5年生)

今年度から福岡県学力テストでタブレットを用いるようになりました。初めての試みでしたが、事前のCBT 体験で学習したことを生かしました。



(6年生)

家庭科の調理実習の事前学習として、班で動画を見て、作り方を確認しました。国語科「文の組み立て」では、Google スライドを使うことで、文の並び替えを容易に行うことができ、文章構成への理解を深めることができました。また、体育科や音楽科において、毎時間タブレットを用いて、振り返り等を行い、学びの足跡を残しています。

マルセリーノの歌 (坪内もか)

めあて 曲を聴いて、曲の変化をとらえて表現しよう。

マルセリーノの歌

① アのせりつを聴いてどんな感じがしますか。  
② イのせりつを聴いてどんな感じがしますか。  
③ どんなふうに歌ったか、演奏したらいいですか。

① 少し怖い！眠くなってくる！嬉しい！悲しい！  
② ①と比べて明るくなっている？寝間違ってかんじがゆったりしている？ゆったり歌ったらしい！  
③ 高い音で歌ったらしい！

音楽科

家庭科 調理実習



国語科「文の組み立て」

(たんぽぽ)

夏野菜屋さんで販売したい野菜決めの時、夏に収穫できる野菜かどうかネットで調べて確認しました。「トマト」「ピーマン」「大丈夫です。」「ニンジン」「冬野菜です。」大根の意見が出た時は、冬野菜屋さんで収穫したから冬でしょう・・・と思いきや、夏でも収穫できることが分かり、子どもたちは、驚いていました。

販売したい野菜



話し合いの中、調べる6年生



(たんぽぽ)

6/17に行われるなかよし交流会で学校紹介をします。山田小学校の概要やたんぽぽ学級の活動が分かるように、スライドの中に写真やイラストを入れながら学校クイズを作りました。



# タブレット活用の現状について

※編集の留意事項:3ページ目に載せています。

## 【1年生】

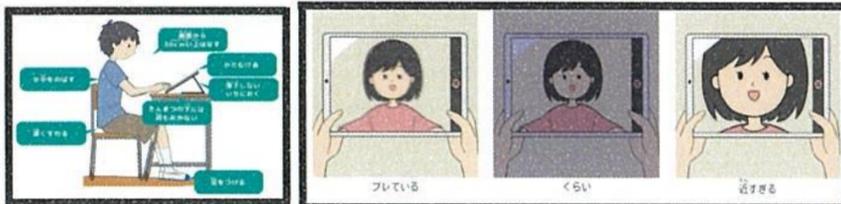
### 【初めてのタブレット使用】

【写真:児童の様子があれば優先して掲載】

- ・約束を確認
- ・持ち方、開き方、使用時の姿勢を「GIGAワークブックとうきょう」のサイトを使用しながら学習

### 【あさがおの観察】

- ・写真の撮り方を学習  
(インカメラ、アウトカメラ)  
(アップ、ルーズの選び方)
- ・撮った写真を見ながら観察カードを書く。



## 【2年生】

### 【ドリルパークの活用】

- 算数科「100をこえる数」の学習では、練習問題の時間にドリルパークに取り組んだ。たくさん問題にチャレンジすることができ、学習の理解を深めることができた。
- ▲ 低学年は教科・単元限りがあるため、国語科等では、あまり活用できていないことが課題である。



---

## 【3年生】

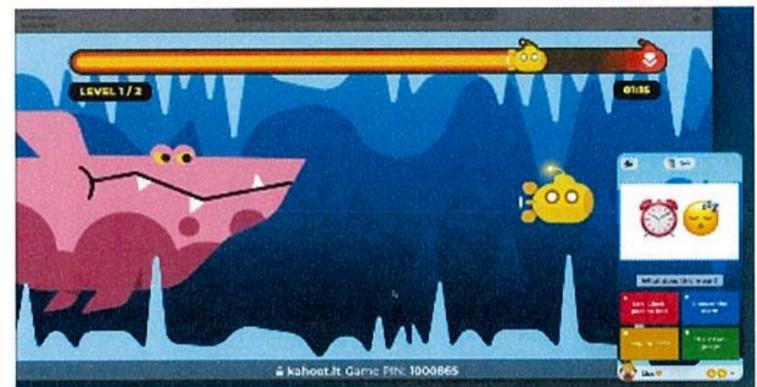
### 【kahoot!による学習内容の確認・係活動】

- 国、算、社、理などを中心に、授業で学んだ内容をもとに 問題を作成(教師)
- ・個人で解答する  
(メリット)問題毎の正答率がわかる→復習や訂正を行うことができる
- (デメリット)個人差が大きく、意欲の差がでやすい  
(でも楽しい)



- ・全員で協力  
(メリット)みんなで協力して楽しむことができる。同じ問題がランダムで何度も出るので、知識的な学習は記憶に残ると思う)
- (デメリット)個人の正答などは把握しづらい。子どもが急ぐため、適当に答えることがある。
- ・係活動で活用  
全員が参加できるクイズを行いたいということで活用。3年生はタイピングがまだまだ 時間がかかるため、作成にはかなりの時間がかかった。

(と  
ことが

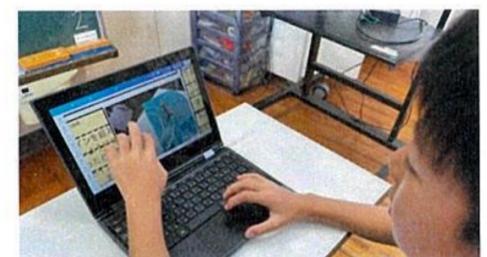


---

## 【4年生】

### 【NHK for schoolの活用】

社会科「水はどこから」の学習で浄水場の仕組みの動画を視聴した。分かったことをノートにまとめ全体で共有し、その後付加修正を行った。見学に行くことはできなかったが子どもたちが興味、関心を持って学習することができた。



## 【5年生】

### 【説明:写真の説明・使用した教材】

#### 【①ミライシードの活用】

ドリルパークで算数科の小数のかけ算の復習問題を選択し、課題として与えた。

#### 【②スライド・ドキュメントの活用】

国語科の報告文を書くにあたって調べたことをスライドにまとめ、ドキュメントにて文章化していった。

#### 【③キャンバの活用】

キャンバの機能を利用して活動のまとめの作成をした。



## 【6年生】

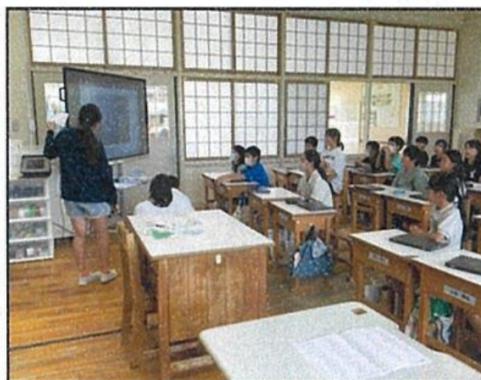
### 【説明:写真の説明・使用した教材】

#### 【ミライシードの活用】

オクリンクプラスを活用して学級旗の投票、決定を行った。出席番号順、提出順等変更でき、サムネイルを小、中、大、特大等見やすいように調整することができ、児童も一覧を自分の画面で表示することもできる。

フォームを用いて投票し、3票まで絞り、その後は話し合いにより決定。

全員分のイラストがいつでも見れること、教師側が制限の設定を細かく調整できること等、使い方を知れば更なる活用ができると感じた。



## 【なのはな】

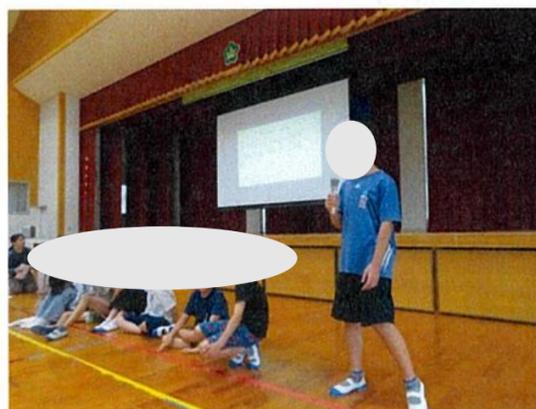
### 【説明:写真の説明・使用した教材】

#### 【スライドの活用】

国語科の手紙を書く学習で、字を書くことが苦手な児童は、スライドを使い、手紙を書いた。

生活単元「なかよし交流会」の学習で、クイズ大会で使うスライドを作成した。

### 【写真:児童の様子があれば優先して掲載】



## タブレット端末活用の現状について

### (1年生)

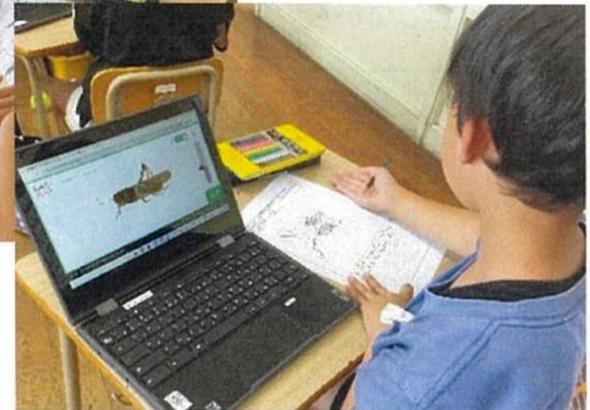
1年生はまだ個別のタブレットは準備できていませんので、使用していません。準備でき次第、ログインの仕方や基本的な使い方を学習する予定です。

図画工作科や、国語科の学習で指導書に付いているQRコードを読み取り手本を見せながら学習をしました。



### (2年生)

生活科「生きものなかよし大作戦」の学習で、タブレットを活用して学校や家庭で見つけた生きものについて調べました。「ものすごい図鑑」のアプリで生きものの特徴を調べたり、インターネットで検索して生きものの育ち方や食べ物を確認したりしました。捕まえることが難しい生きものもいるため、図鑑の写真を見ながら観察カードに記録しました。



### (3年生)

音楽科「せんりつを感じを生かして吹こう」のリコーダー学習において、レッツゴーソーレーを演奏しました。練習過程において、個々人のニーズに応じた練習動画を選択し、一人一人がヘッドフォンを着用して個人で練習ができる場を設けました。用意した練習動画は約30本、児童が意欲的に練習するきっかけになりました。



二人でえんそう

一人でえんそう



(4年生)

社会科「地震にそなえるまちづくり」の学習で、家庭にある防災グッズを調べました。オクリンクプラスを使って、共有を行い、一人分の目安と比べて、少ないことや、物が足りていないことを考えることができました。家庭での写真も共有することができ、資料の活用で大きく役立ちました。



(5年生)

6月に田植えをしました。毎週タブレットを使って写真を撮り、稲の生長を記録しています。写真を撮ることで、1週間の間にどれだけ生長したかが分かり、生長した稲を見て子ども達も喜んでいます。また、e-kakashi の授業も行ったので、田んぼの状態をタブレットのアプリで確認しながら大切に餅米を育てていきます。

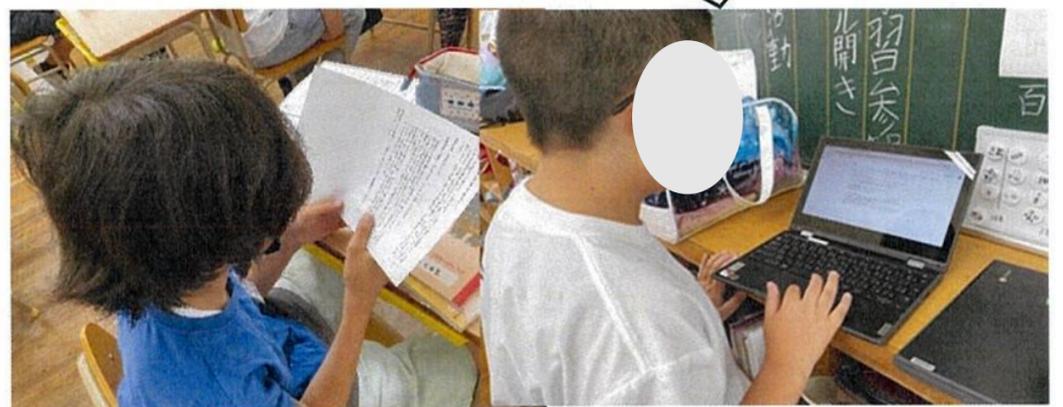


(6年生)

国語科「デジタル機器と私たち」では、教師側が生成 AI "Gemini" を使って、課題設定を促す話者的存在として活用するだけでなく、文書作成に関わる情報収集と配信、モデルとなる提案分のリライト、下書きの評定と評価を行いました。子ども達は、ドキュメントを使いながら、AI からの評価について友達との交流を重ね、提案文の付加修正に取り組みました。

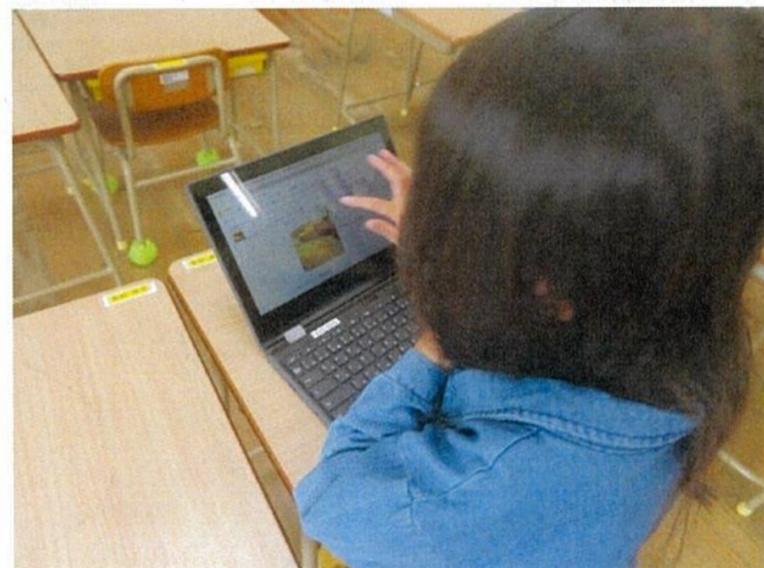
AI からの評価を読んでいます。評価規準を設定しているのでの的確なコメントです。提案文の修正に生かせるものでした

AI のコメントを参考に、一人でどんだんドキュメントを使って提案文の付加修正に取り組んでいました。

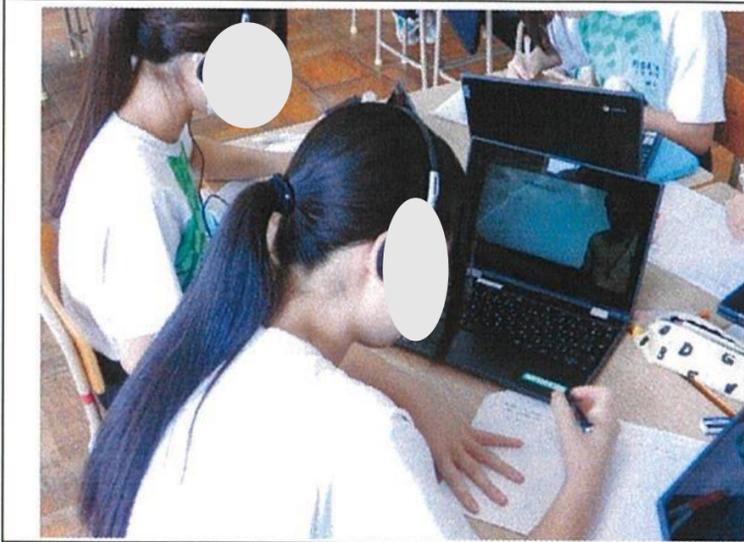


(たんぼぼ)

野菜屋さんで野菜を販売する際の参考にする「野菜料理カード」を、スライドで作成しました。高学年の子どもたちは、担当の野菜を使った料理を、例えば、「ピーマン 簡単 料理」というキーワードで検索し、写真を活用したり、材料や作り方を自分なりにまとめたりしました。実際の販売場面では、この料理カードを活用する子どもたちの姿が多くみられました。



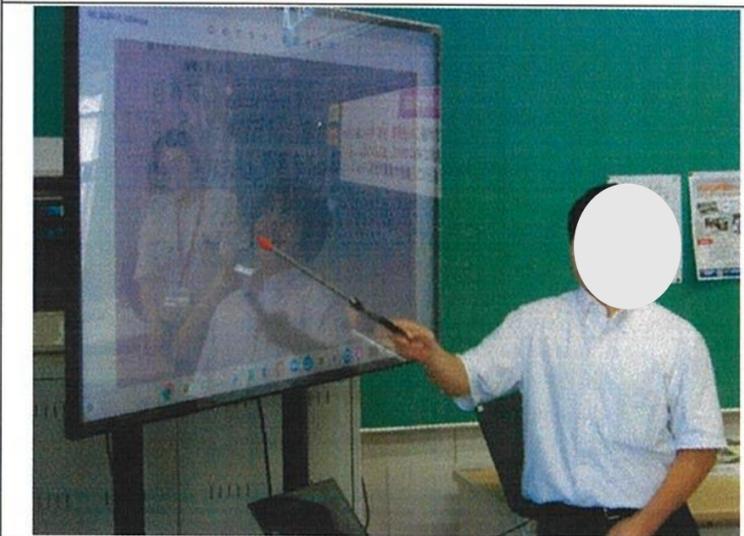
タブレット活用の現状について



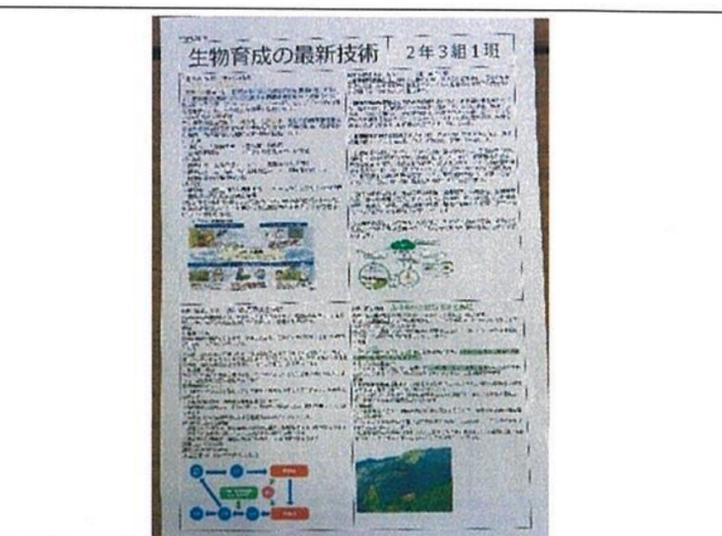
【3年 数学】段階に応じて教師が解説した動画を準備し、生徒は自分がつまずいている箇所の解説動画を選択し、学習しています。



【3年技術】2年生の時に作成したオーロラクロックという教材を使って、3年生ではwebプログラムを使った制御学習に取り組んでいます。



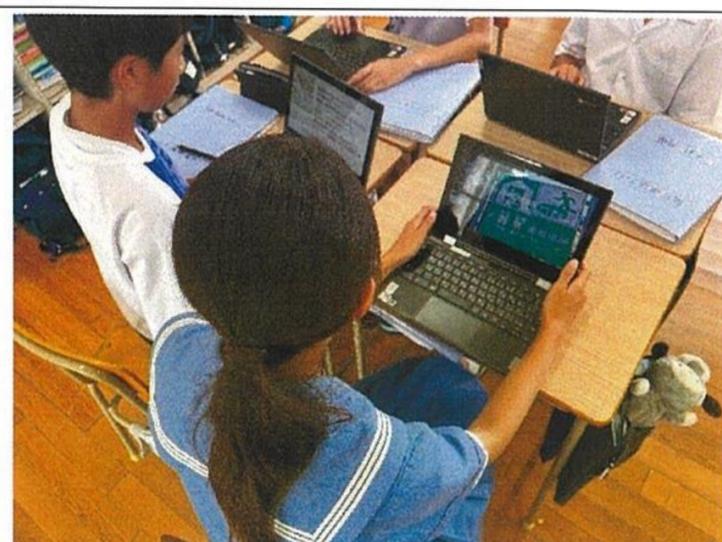
【1年社会】生徒が書いた振返りを写真に撮り、映像化したものを使って生徒が発表しています。



【2年技術】同じ画面を共有し、「生物育成の最新技術」というテーマで、協働作業しながら1つの新聞を作成しています。



【2年国語】国語科では一人一作品、「修学旅行おすすめはここ！」というテーマでプレゼンテーションを作成しました。現在は学年フロアで放映中です。



【2年総合】2年生は「ディザスター久山」というテーマで防災教育を進めています。その一環として、班で一つの防災に関するプレゼンテーションを作成しています。

## タブレット端末活用の現状について

### (1年生)

モニター画面を使って、漢字の練習をしています。筆順を確かめたり、空書きをしたりしています。筆順が順番に動き、速さも調節できるのでみんなで繰り返し学習できます。画面も大きく、教室の後方からでもとても見やすいので、算数の学習でもデジタル教科書を活用しています。



### (2年生)

国語科「どうぶつ園のじゅうい」の学習で、電子黒板を活用して、本文の中から、じゅういさんの仕事がどこに書かれてあるのかを確認しました。  
本文から「いつ」「筆者がどんな仕事をしたのか」「そのわけ」「仕事のくふう」を読み取り、電子黒板に色で分けて線を引きました。読み取ったことをもとに、プリントにまとめました。



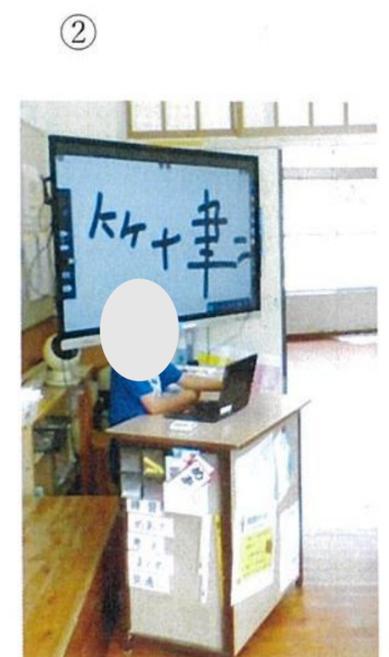
### (3年生)

#### ①(3-1)

祭り久山の手話の会の方とのコラボに向けて、撮影していた見本を見ながら踊りの練習をしました。

#### ②(3-2)

描画キャンバスを使っています。国語科(漢字の組み立て)にて、部首とその他の部分で足し算を作り、漢字クイズを作成しました。



(4年生)

新しく学級に導入された電子黒板を使って、様々な教科で活用しています。モニターとは違い、インターネットでの検索や、サイトの閲覧まで電子黒板のみで行えるため、効率的に活用できています。また、画面にそのまま書き込みまでできるので、以前までのモニターとは、違い、大変使いやすいです。



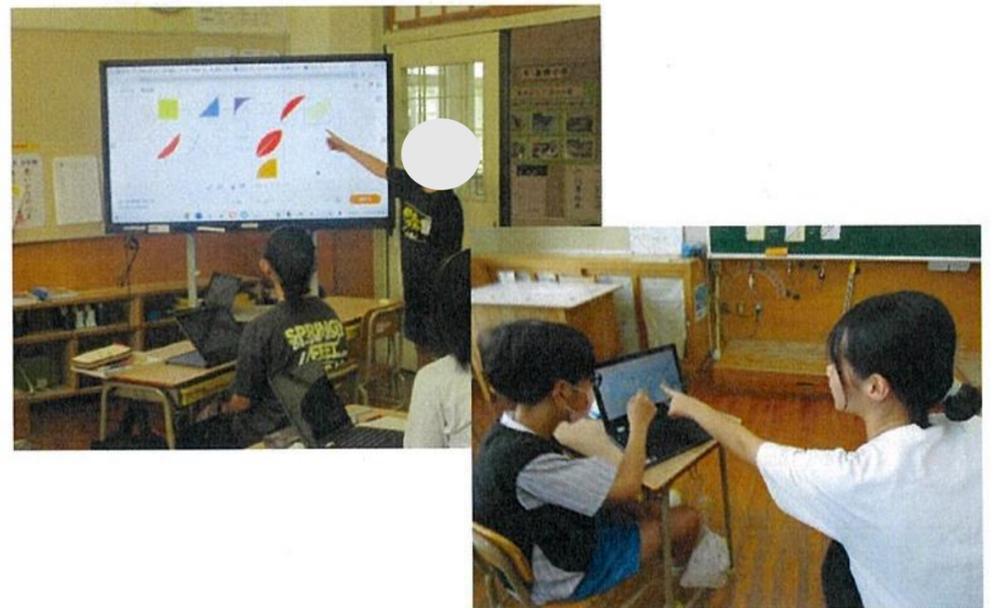
(5年生)

タブレットを使って、読書感想画の下描きをしました。自分が描きたい絵のページを写真に撮り、拡大したり色の配色を見たりして素敵な読書感想画を仕上げるきっかけにしました。



(6年生)

オクリンプラスを使って、算数科「円の面積」の学習をしました。図形を自由に操作できるようにすることで、複雑な思考過程を視覚的に整理し、自分の考えをクラス全体で共有しやすくなりました。「どうやって考えたのか」という思考のプロセスが明確になるため、子どもたち同士が活発に話し合い、お互いの考えを深め合う時間になりました。



(たんぼぼ)

写真を拡大したモニターに、はかりの目盛りを赤ペンで目立つようにしたり、一目盛りの読み方のコツを確認したりした。実物のはかりでは、目盛りが見にくかったり、直接書き込みができなかったりするが、モニターだと、ポイントを押しやすかった。

その後、実際にはかりでいろいろな物の重さを量った。モニターで朱書きしたコツを確認しながら、自分たちで進めていた。



# タブレット活用の現状について

## 【1年生】

生活科の学習で、自分が捕まえた虫を観察カードに描き、クラスで紹介する活動を行う際に、オクリンクを使用した。

観察カードを子供たち自ら写真を撮り、提出することで電子黒板に大きく表示し、全員が見える状態で発表を行うことができた。



## 【2年生】

図画工作科「まどのあるたてももの」の作品をタブレットを使って撮影しました。今回は、作品作りにおいてがんばったことや工夫したことを話しながら動画に記録しました。それをオクリンクにて提出しました。

今年度初めてオクリンクを使ったので、その使い方を確認することができました。また、書くことが苦手な児童も、音声言語で伝えることができることがよかったです。



## 【3年生】

社会科「農家の仕事」の学習の導入で、福岡県でとれる野菜の地図から考えたことの交流を行った。オクリンクを活用し、個人用機器で線や文字を打ち込んだものを提出してから画面に表示した。

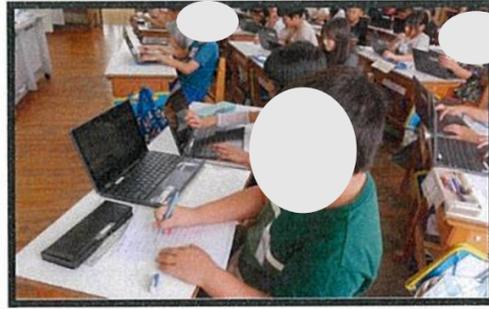
利点としては、3年生がローマ字の学習を行っているがまだ十分にタイピングの技能が身につけていないため、文字だけでなく線などを使うことができることが考えを表現することの手助けになっている。また、提出後のカードを電子黒板に図示しながら発表を行ったことで聞いている子が視覚的に確認しながら話を聞くことができた。

授業の中で活用する際の課題は、ノートとタブレットの使用の切り替えをよりスムーズにする必要があること、また机の上に置くスペースがないため、子供たちが道具の管理をする練習も行っていく必要がある。



### 【4年生】

総合的な学習の時間「あるある久原」で、久原本家について調べた。「ひと」「こと」「もの」をテーマに個人で調べた後に、全体で共有した。調べる中で出てきた疑問は後日、校外学習を通して解決していく。



### 【5年生】

#### (体育マット運動)

マット運動の技の動画を撮り、オクリンクプラスのクラスルームに添付して提出する活動を行った。

毎時間教師が1人ずつ見て評価をしなくても、動画を見ながら評価できるようになった。子どもたちも使い方に慣れ、動画の他にいろいろなものを提出することができるようになってきた。

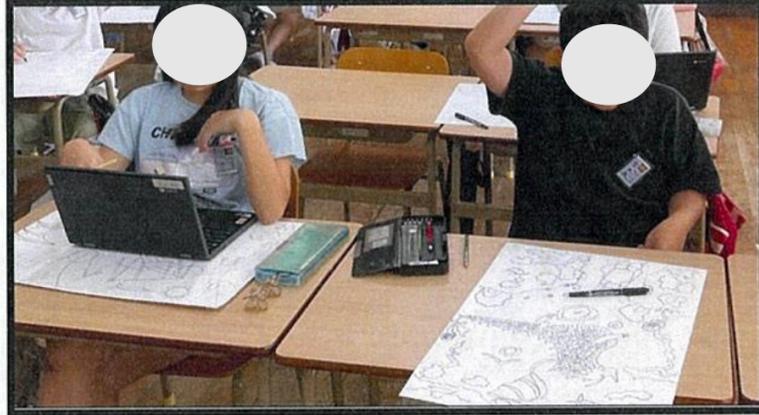
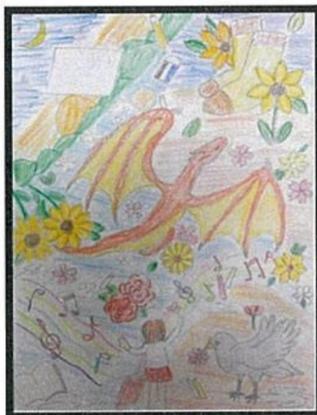


### 【6年生】

#### (読書感想画)

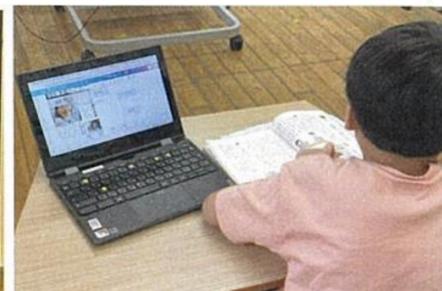
読書感想画の書き始めのメモ、裏面に貼り付ける作文、振り返り(成績)においてドキュメントの活用をした。1度目はタブレットは準備せず、読み聞かせのみを行った。2回目に読み聞かせをした時にタブレットでメモをするように伝え、その間に登場した物、広げたい物語等メモをしていくように伝えた。1度聞いた物語ということと、自分の中で膨らんだ想像をその場で書き留め、裏の作文や、実際の絵にも反映させることができるので有効的であったと考える。児童はそのメモを見ながら物語を膨らませて絵を描き進めたり、文字を調整して裏の作文を書くことができるため、今後も活用を継続していきたい。

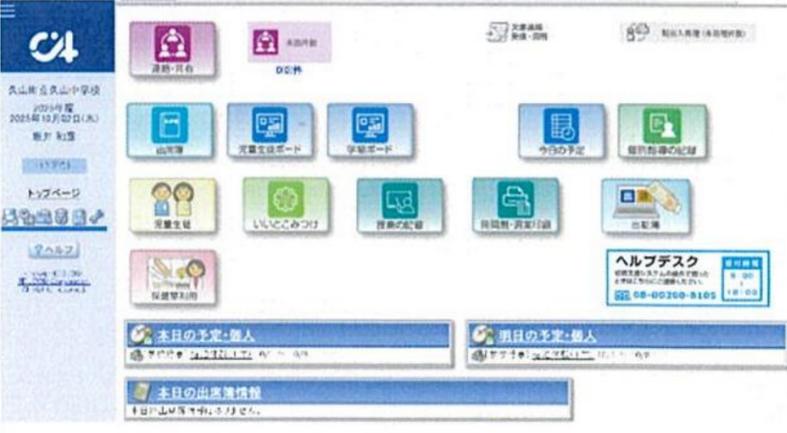
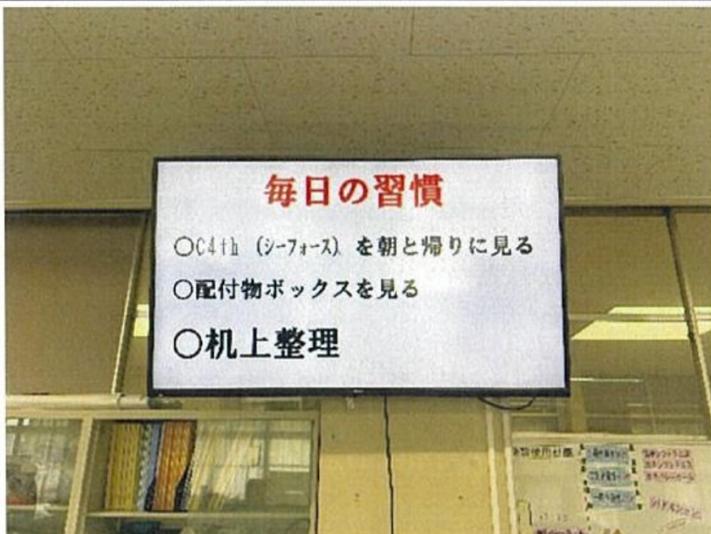
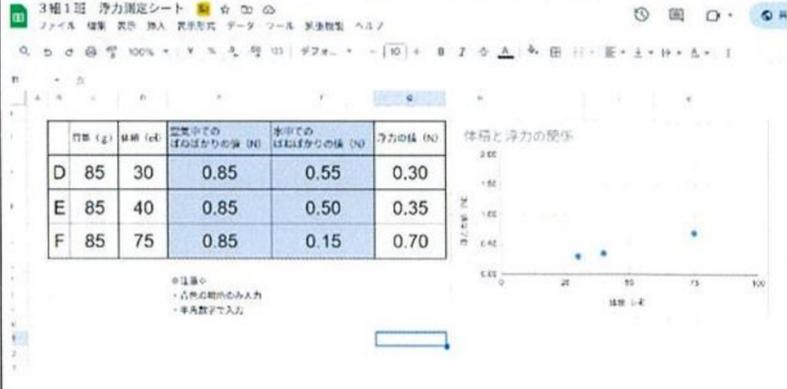
また絵の提出場所はオクリンクを使用し、鑑賞、評価に活用する予定である。物の管理やかさばりなどを抑えることができ、業務改善にも繋がると考える。



### 【なのはな】

5年国語「新聞を読もう」の学習でcanvaを使用。テキストボックスを児童が操作し、新聞の構成を考える授業を行った。児童が発表する際には児童の画面を電子黒板で表示し、発表をする形をとった。また、資料の共有やリンクの共有で、クラスルームのストリームを使用した。



																								
<p>【わたしたちの HISAYAMA 作品応募状況】 2年総合「ディザスター久山」で作成した作品に加えて、祭りひさやまのポスターが応募されています。</p>	<p>【C4th】校長先生を中心に C4th の活用を推進しています。まずは毎日開くことを習慣化し連絡事項の未読をなくすことが目標です。</p>																							
	 <table border="1" data-bbox="1213 1277 1617 1421"> <thead> <tr> <th>学年 (組)</th> <th>人数 (名)</th> <th>空気中の水のほぼかりの値 (N)</th> <th>水中での水のほぼかりの値 (N)</th> <th>浮力の値 (N)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D</td> <td>85</td> <td>30</td> <td>0.85</td> <td>0.55</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>85</td> <td>40</td> <td>0.85</td> <td>0.50</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>85</td> <td>75</td> <td>0.85</td> <td>0.15</td> <td>0.70</td> </tr> </tbody> </table>	学年 (組)	人数 (名)	空気中の水のほぼかりの値 (N)	水中での水のほぼかりの値 (N)	浮力の値 (N)	D	85	30	0.85	0.55	0.30	E	85	40	0.85	0.50	0.35	F	85	75	0.85	0.15	0.70
学年 (組)	人数 (名)	空気中の水のほぼかりの値 (N)	水中での水のほぼかりの値 (N)	浮力の値 (N)																				
D	85	30	0.85	0.55	0.30																			
E	85	40	0.85	0.50	0.35																			
F	85	75	0.85	0.15	0.70																			
<p>【校務】職員室のモニタに連絡事項をスライドショーで繰り返し表示することで、連絡事項の徹底を図っています。</p>	<p>【3年理科】スプレッドシートを活用し、実験結果をグラフ化して学習に生かしています</p>																							
																								
<p>【2年総合】2年生は総合「職業体験」のまとめを新聞形式で作成しています。完成した新聞はお世話になった事業所に配付するとともに文化週間に学校で展示します。</p>	<p>【2年総合】2年生の総合「ディザスター久山」で作成したプレゼンテーションは動画に変換し、久山中学校図書館で行われる Momotaro Cafe で公開します。</p>																							

# タブレット活用の現状について

令和7年12月11日(木)  
久山町立 久原小学校

## 【1年生】

- ・初めてフォームでのアンケートに答えました。
- ・算数の計算練習や漢字の確認などでドリルパークをしようしています。
- ・図工の作品をオクリンクでカードにして紹介し合う活動を行いました。  
写真を撮って大きさを調整したり、手書き機能で説明を書いたりもしました。  
「みんなに」機能を使ってお互いに花丸等のスタンプを送り合いました。
- ・使用頻度が上がるにつれ、ログインやクラスルームへの入り方も上手になってきました。



## 【2年生】

単元によっては、ドリルパークを使って、練習問題に取り組んでいます。最近では、国語科の言葉の学習や算数科の「かけ算」(文章題)「三角形と四角形」などです。

九九を使ったかけ算の計算は、プリントに繰り返し書くことで速く正確に解く力を伸ばしたいので、あまり活用できていません。どの単元だと活用できるのかを考えながらですが、できるときにできる範囲で使っています。

3年生に向けて、今後はタイピングの練習も取り入れたいと思います。

## 【3年生】

ローマ字の定着を図るため、「おびひろタイピング」をお気に入り登録させて空き時間に挑戦している。キーボードを表示することもできるため、配置を覚えることにも役立っていた。

スコア表示もあるため、自分の伸びを知ることができて子供たちは意欲的に取り組んでいた。

3年生は算数のテストについている「CBTタワー」を復習に用いている。今後、学力テストがCBTで実施されていることや、慣れていない出題形式に挑戦することが苦手な傾向のある子供たちにとって良い経験になると考えた。学習内容の復習という点でも使え、「ミライシード」のドリルパークとも回答方法が異なるため、問題を解こうと集中して取り組む様子が見られた。



あなたは 4,229,838 人の利用者です!

©2021-2023 帯広市教育研究所 / Obihiro Education Research Institute

ホーム	かたい	スコア
ホーム	かたい	70.5
ホーム	かたい	70.5

## 【4年生】

社会科の学習でスライドを使用した。福岡県で大勢の人が参加したり、見物したりしている年中行事（どんたく、山笠など）についてまとめる活動を行った。調べて入力し、画像を貼り付けることは、ほとんどの児童ができていた。今後、スライドを基に発表をしていく。他には、デジタル教科書やドリルパークでの使用をしている。

### 博多どんたくのはじまり

博多どんたくのはじまりになったのは博多松原子です。博多松原子は福岡の大きなまつりで国の重要文化財です。博多どんたくと博多松原子が合わさって1962年に博多市にたんじょうしました。



## 【5年生】

外国語の他者紹介の際、キャンバのプレゼンテーション機能を使ってプレゼンテーションを作成し、発表することができた。様々な機能や素材があるため、児童一人ひとりの個性が出ており、見ていて楽しめるプレゼンテーションをつくることができた。子どもたちも、どの素材を使おうか試行錯誤しながら楽しむことができた。

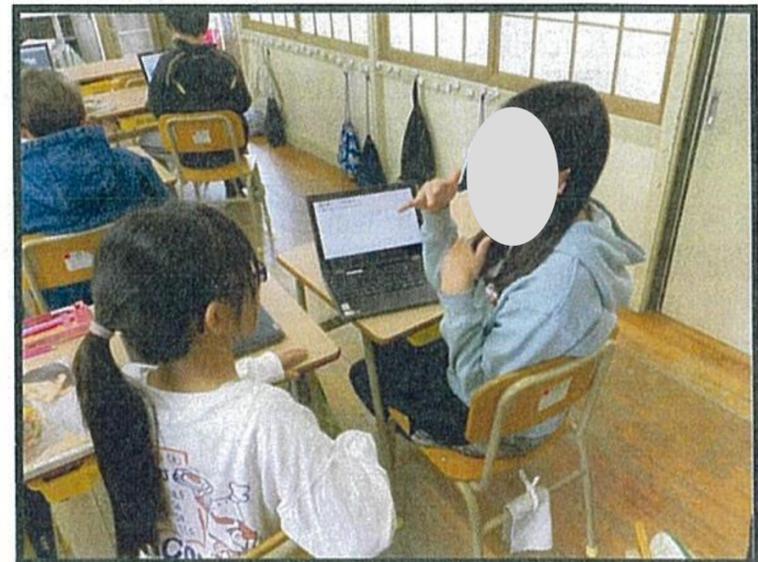
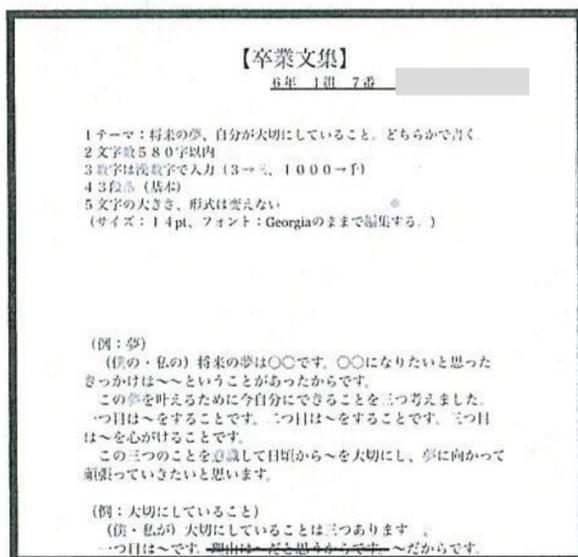
また、オンライン英会話を行うことができた。



## 【6年生】

(卒業文集の取り組み ドキュメントを活用した下書き)

卒業文集の下書きをドキュメントで下書きをすることで、文の修正がしやすく、交換読みをした友達同士でアドバイスしたことを活かすやすかった。清書する時にもタブレットを見ながら書くことで印刷等の業務も削減され、より効率的に文章を書くことができる。また、教師もクラスルームを通して子ども達の文章一覧で見ることができるようになるため、端末があれば場所を問わず文集の校正をすることができる。



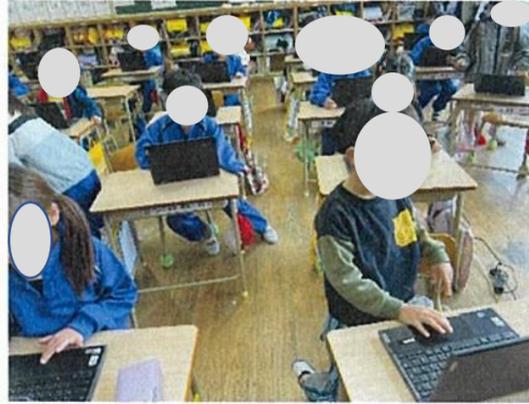
## 【なのはな】

デジタル教科書の活用。テレビ画面に写して授業を進めることで、どこの説明をしているのかわかりやすい。特に算数科「拡大図と縮図」などの図形領域の学習に効果的である。

国語の学習で意味のわからない言葉やイメージできない物など、国語辞典で調べるととても時間がかかる。そのため、タブレットを使うことで、言葉や画像検索してすぐに内容を理解することができた。

(1年生)

国語科の漢字の練習では、「ミライシード」で自分のペースに合わせて主体的に練習をすることができました。また、算数科においても、既習の復習を繰り返すことができました。ミライシードでは、一問一答なので、読み書きが苦手な子も進んで学習に取り組みました。



(2年生)

国語「おもちゃの作り方をせつめいしよう」の学習で、生活科「うごくうごくわたしのおもちゃ」をした際に自分が作ったおもちゃの作り方の説明書を作成しました。必要な材料を調べたり、手順を思い出したりするために、生活科の教科書に記載された URL を読み取り、資料から文章化しました。グループでひとつの画面を見ることで、自然と対話が生まれました。



(3年生)

国語・外国語活動・理科などの教科の単元の終末で、カフトで問題を出し、早押し4択問題で復習を行いました。ゲーム感覚で復習でき、正答率や早押しでランキング表示されるので、子どもたちは、真剣に取り組んでいました。また、一度問題を作れば、何度もできるし共有できるので、1組、2組で協力して問題を作り一緒に使うことで、働き方改革にも貢献しています。



### (4年生)

国語科「工芸品のみりよくを伝えよう」では、オクリンプラスを使ってリーフレットづくりを行いました。編集はもちろんのこと、画像の挿入が容易なため、作りやすさを感じました。また、縦書きができるので、使用用途が広いです。子どもほかの友だちの表現物の参照ができるので、書き始めが苦手な子でも徐々に作ることができていました。

### (5年生)

5年生では、社会科の学習のノートまとめを写真に撮り、クラスルームに提出させています。学期末の時期になると子どもたちのノート点検等で膨大な量になります。クラスルームの課題でその都度提出し、積み上げておくといつでも見ることができ、評価の時も分かりやすいです。

### (6年生)

家庭科「まかせてね 今日の食事」で、1食分の献立を、インターネットを使って、考えました。「主食」「主菜」「副菜」「汁物」を選択でき、調理時間などの条件を指定できるサイトを参考にしました。実生活でも子どもたちは、インターネットを使ってレシピを調べると思うので、役立つように意図的に仕組みました。条件を絞ることで、比較的簡単に調べることができました。

### (たんぽぽ)



すべての生徒

ステータスで並...

提出済み



社会科「日本の工業生産と貿易」ノートまとめ

22

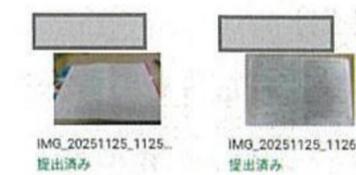
3

提出済み

期り当て済み

提出を受け付けています

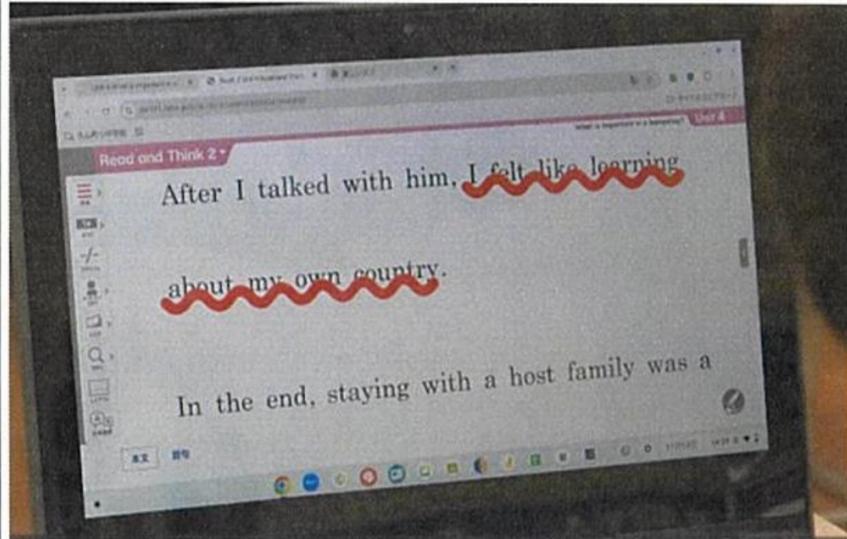
すべて



### (たんぽぽ)

卒業文集に書く内容を詳しくするために、ジェミニに「卒業文集を自分で書きたい。内容が詳しくなるように質問してほしい」というプロンプトを入れ、返答があった質問事項に答える形で、振り返ったり思い出したりした。最初は、「なんも思い出せん」とつぶやいていた児童が、ジェミニの質問事項を読み、教師との対話からだんだん饒舌になり、書きたい内容が広がり、書く意欲も高まった。ジェミニの多様な視点が有効だった。

### タブレット活用の現状について



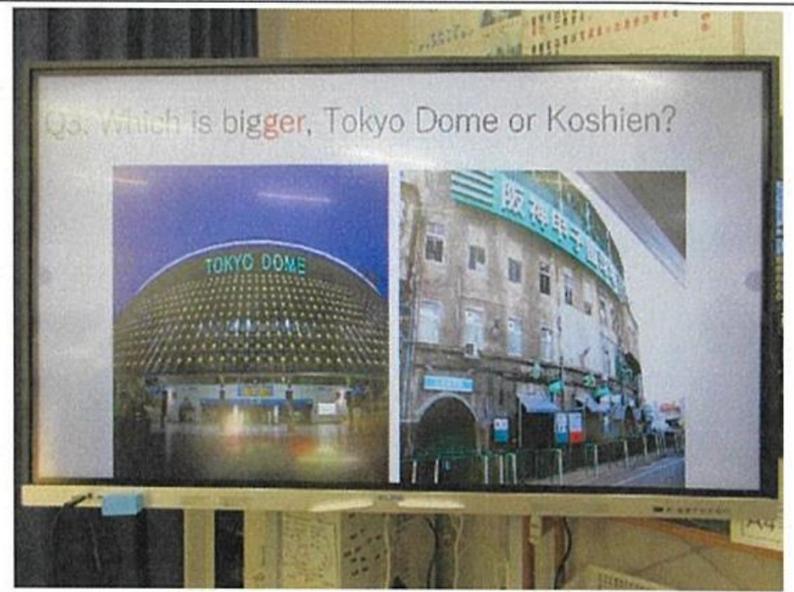
【英語】全学年生徒一人に一つイヤホンを購入し、デジタル教科書の活用に生かしています。



【体育】各グループがタブレットで撮影した動画を活用したダンスづくりの授業。



【数学】3年生数学ではタブレットを活用した自立学習が定着している。

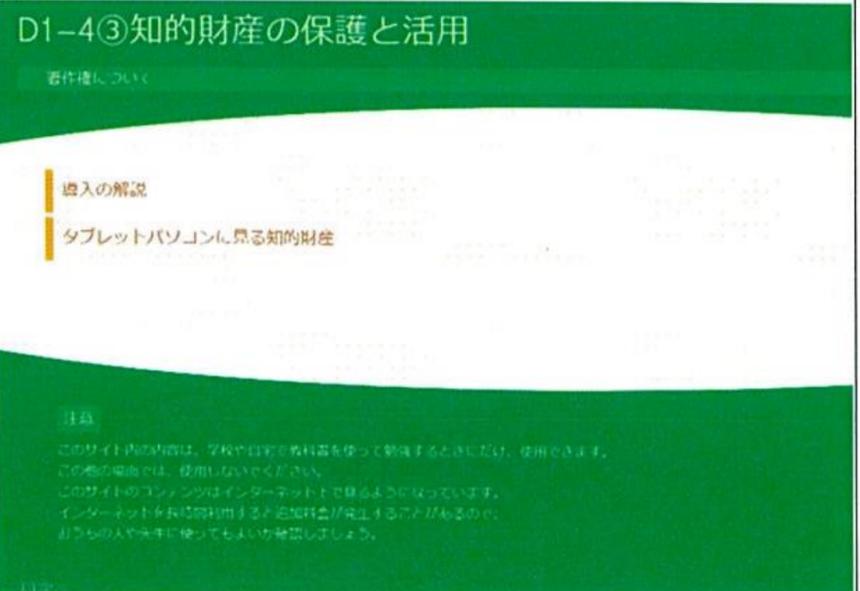


【各教科】大画面の電子黒板が各教室に配置され、デジタル教科書等の文字が大きくなり活用しやすくなっている。



【各教科】教科書のQRコードを読み取ると、教科書の内容に関するコンテンツを参照することができる。

各教科で活用されるようになってきました。



# タブレット活用の現状について

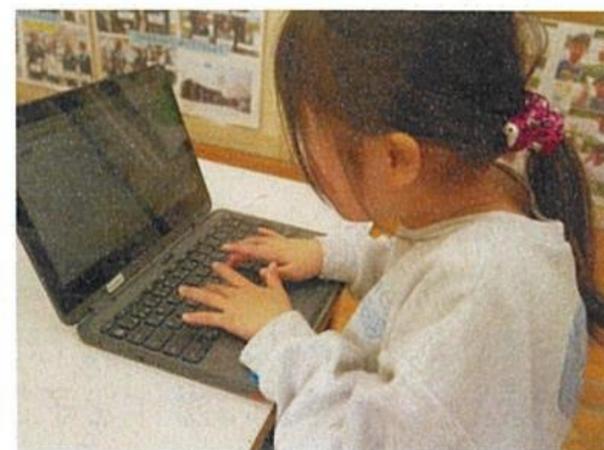
久山町立 久原小学校

## 【1年生】

### タイピング練習

「プレイグラムタイピング」というサイトを使ってキーボードを打つということを始めた。ホームポジションを覚えること、両手のすべての指を使って入力すること等、初めて知ることが多く、楽しく取り組むことができた。タブレットのアルファベットが小文字のため、サイトの表示と違い戸惑っている児童も多かったが、絵を見ながら自分で練習を進めることができた。

また、キーボードを強く押すことや押し続けることはキーボードの故障につながることも伝え、大切に使用することを確認できた。

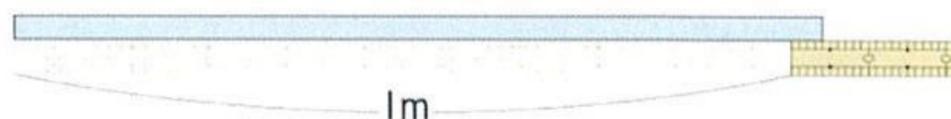


## 【2年生】

### 算数科【100cmをこえる長さ】

電子黒板にデジタル教科書の問題をうつし出して、ものさしの目盛りの読み方を指導した。拡大することで、細かいところまで指導することができた。

4 テープの長さは 何 m 何 cm ですか。



### タイピング練習

「おびひろタイピング」というサイトを使ってキーボードを打つ練習を始めた。

表示の通りに打つといいので、初めてタイピングをする子も取り組みやすく、文字、言葉とスモールステップで練習をすることができている。



## 【3年生】

### 図画工作科「のこぎりザクザク」

子ども達の作品を「オクリンク+」で共有させた。動画で良いところや頑張ったことを説明しながら撮り、提出した。今回は行っていないが、友達の良いところについてコメントさせるなど、高学年になるにつれて活用方法をふやすことができると思った。



## 国語科「カンジーはかせの音訓カルタ」

今までに習った漢字の音と訓をつかい、5・7・5の文を作る学習を行った。子供たちの作品を集め、「ChartGPT」でカルタ化し、最後の学習ではカルタ大会を開いた。学習のねらいに沿った活動ではないが、自分たちの作った物がカルタ化されたことを喜び、楽しむ姿が見られた。

## 【4年生】

### 総合的な学習の時間(未来に向かって)

学習参観で、キッズニア体験で学んだことを発表した。ペアでスライドにまとめる。伝えたい内容のスライドに切り替える。すべての操作を子どもたちだけで行うことができた。

次回の交流会の発表では、NotebookLMの活用もしていきたいと思う。



## 【5年生】

### 理科(ふりこのきまり)

タブレットでストップウォッチ、録画、記録入力を行い、スプレッドシートに記録を入力したら自動で平均値を求めたり、結果を集約してグラフ化したりするようにした。手元で各班のデータを比較しながら交流したことで実験結果の誤差を検討したり、客観性が高まった考察を書いたりすることができた。

### 社会(自然災害からくらしをまもる)

自然災害への対策について調べたことを、Googleスライドを用いてまとめたり、グループ交流、全体交流の際に資料として提示したりした。



## 【6年生】

### 理科(水溶液の性質)

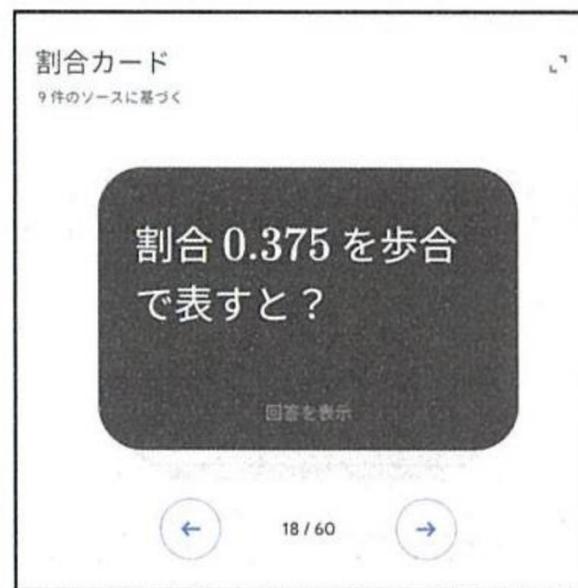
Googleスライドを用いて結果の共有ができるようにした。他の班のスライドも確認することができるので、班や全体での交流がより活発になった。また、前のモニターで確認しながら全体交流することでより客観的な考察を書くことができた。

水溶液	赤 【強い塩酸水】	緑 【炭酸水】	黄色 【食塩水】	青 【アンモニア水】	紫 【重曹水】
見た目	普通	泡がある	普通	普通	普通
におい	ツンとした匂い	ない	ない	ツンツンして鼻にくる匂い	ない
におい 【蒸発後】	なし(焦げた匂い)	なし(焦げた匂い、泡が沢山出る)	なし(焦げた臭い)	なし(少し強い焦げた匂い)	なし(焦げた匂い)
残る物 【蒸発後】	なし	なし	濃く白い	なし	濃く白い

5種類(重曹水・食塩水・うすい塩酸・炭酸水・うすいアンモニア水)



## 【なのはな】



### 5年「言葉でスケッチ」の学習

文章を作成後タブレットの音声入力でcanvaの生成AIに読み取らせ、自分が伝えたい情景と同じような画像を生成させる活動を行った。読む人に伝わる文章を書くことができるように情報を足したり、事実のみを伝えるような文章を考える活動を行うことができた。

### 5年「割合2」の学習

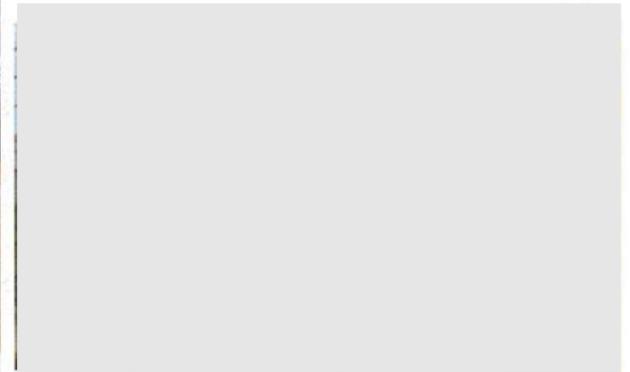
Google notebook LMを用いて算数のフラッシュ問題を作成。教師タブレットの画面を電子黒板で表示して、子どもたちに問題を解かせた。作成時間は3分もかからず、60問程度の問題と解答が作成できるので業務効率化につながった。

### 3年「四まいの絵を使って」の学習

四まいの絵を並び替えて物語を作る活動でcanvaを使い、実際に絵を並び替える操作を行うことができた。

(1年生)

国語科の漢字の練習では、「ミライシート」で漢字の総復習や算数において学期のまとめをしています。また、課題配信から、決められた課題を進める練習をしています。家庭学習でも課題ができるように取り組みをすすめています。



(2年生)

国語「見たこと、かんじたこと」の学習で、オリジナルの詩を作成しているところです。春夏秋冬の情景を思い出すために、タブレットで自分のイメージする景色を検索しました。イラストで表現する際、それぞれが見たいものを参考にすることができ、自由度の高い学習となりました。

意欲的に表現する活動となりました。



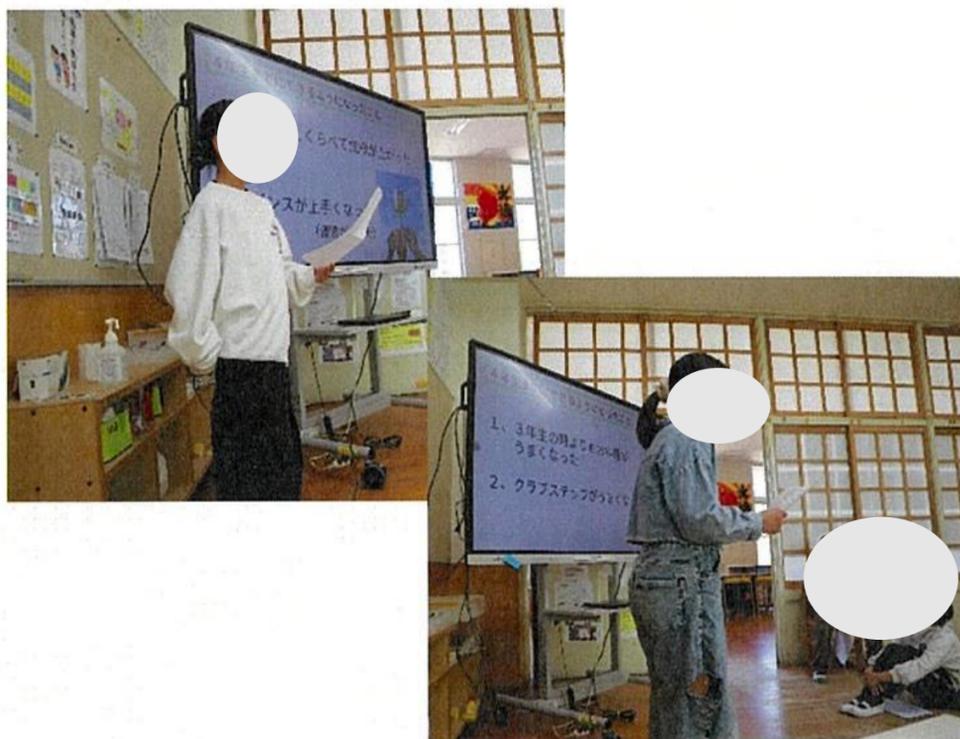
(3年生)

社会科「久山町のうつりかわり」の学習で、今と昔の様子について比較するために昭和30年、昭和50年、令和5年の地図を分割画面にして表示して調べ学習をしました。土地の使われ方は、拡大して見たり、交通の様子については、縮小して見たりと上手に操作しながら比較して気づきをノートにまとめました。発表するときは、電子黒板を活用しています。



#### (4年生)

総合的な学習の時間で、「10歳の集い」を行いました。子どもたちは Google スライドを使って、4年生までにできるようになったことと将来の夢についてまとめました。そして、おうちの方の前で自分で作成したスライドを使って、一人一人が将来について発表を行いました。



#### (5年生)

初めてのオンライン英会話を行いました。はじめは緊張もあり、ぎこちない様子でしたが次第に慣れていき、最後は楽しく終わることができました。学級内で Meet の経験はありますが、タブレットを使えば国外の方々ともつながることが分かりました。



#### (6年生)

国語科「知ってほしい、この名言」でいい言葉だなと思う名言を Canva の付箋機能を使って集めました。そして、付箋をタブレット上で操作することで、情報を整理・選択することができました。観点をもとに整理することで、子ども達は優先順位をつけて名言を選択することができました。タブレット上で自由に操作ができるので、その幅が広がったのだと思います。



#### (たんぽぽ)

生活単元学習「まとめの会をしよう」の中で、6年生にありがとうの気持ちを伝えるときにタブレットを使いました。子どもたちが考えた6年生のよいところをスクリーンに映し出しました。子どもたちが操作をしながら言葉とともに保護者の方に見ていただきました。言葉だけで伝えるよりスクリーンを見ながらだったので、わかりやすくなりました。



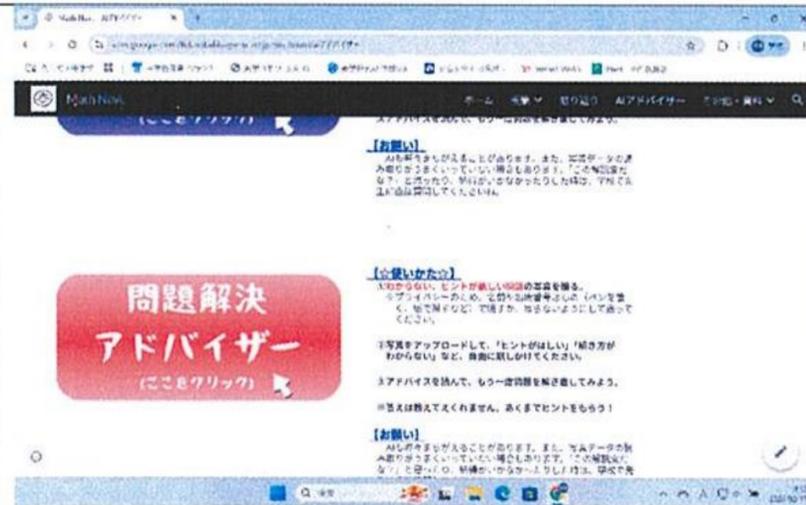
タブレット活用の現状について



【大型電子黒板研修】大型電子黒板の各教室への配置に伴い、理科担当の福岡先生を中心に使い方や活用方法についての研修を深めました。



【AI研修】校務や授業でのAIの活用方法について研修を行った。数学科担当の山本先生を中心に、授業でどのように使ったら効果的かなど、有意義な時間となりました。



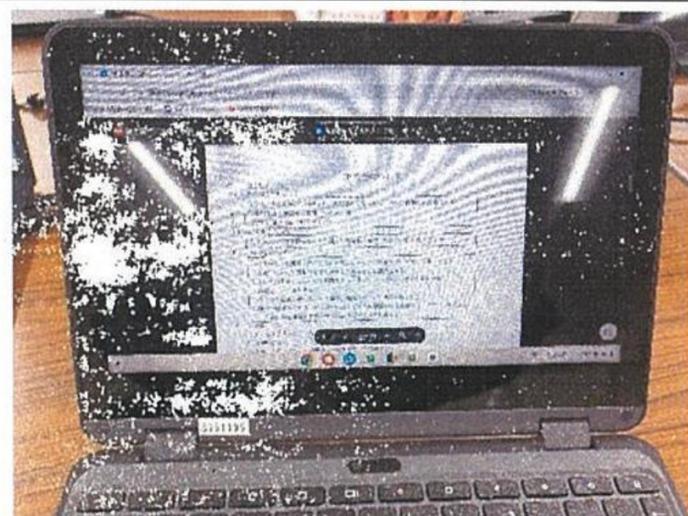
【3年数学】3年生は生成AI「Gemini」「NotebookLM」を活用して問題を解いています。生徒は問題をカメラで撮影し、AIにヒントをもらっています。



【英語】英語科では今年度も「オンライン英会話」が実施されました。生徒に配付しているイヤホンでは会話ができないため、マイク付きのヘッドセットを準備しました。



【生徒会】生徒会役員は、集会等にもスライドや動画を活用しています。新入生説明会では、過去動画を参考にして作成したオリジナルの劇とスライドで、新入生や保護者に生徒会活動について説明しました。



【生徒会】生徒会役員は、委員会の取組原案作成にタブレットを活用しています。今年度は生徒総会資料も紙印刷せず、タブレットで資料を配布しました。生徒はタブレット持参で生徒総会に参加しました。